

## <中国> 呉工業高等専門学校

\*\*\*\*\*断り\*\*\*\*\*

図や一部文章は当該高専 HP 及び当該高専が作成する資料より引用

呉工業高等専門学校 HP : <https://www.kure-nct.ac.jp/>

2020 年学校要覧 : <https://www.kure-nct.ac.jp/profile/pdf/kure2020.pdf>

学校案内パンフレット : <https://www.kure-nct.ac.jp/profile/pdf/annai.pdf>

\*\*\*\*\*

\*アクセス(図は呉高専 HP より引用)

〒737-8506 広島県呉市阿賀南 2 丁目 2 番 11 号



図 1 アクセスマップ

\*特色(一部文章および図は呉高専 HP より引用)

- ・ 2014 年に創立 50 周年を迎えた
  - ・ 広島の一校目の高専
  - ・ 本科は機械工学科、電気情報工学科、環境都市工学科、建築学科の 4 学科編成
  - ・ 専攻科はプロジェクトデザイン工学専攻によって編成
  - ・ SAPAR キャリア教育を取り入れている
- 5 年間の進路指導を、1・2 年次 (職探し=サーチ S、自己分析=セルフ・アナリシス S A)、3 年次 (計画=プラン P)、4 年次 (実行=アクション A)、5 年次 (実現=リアラ

イズR)の“SAPAR”と名づけて体系的なキャリア教育プランとして実施しています。(平成18年度から実施)



※専攻科は、本科4・5年生に準じた活動を行います

図2 SAPAR 教育の流れ

\*教育目標・教育理念(一部文章は呉高専 HP より引用)

**教育理念**

「開発研究とものづくりの現場を結ぶ人材であれ」

～ものづくり現場を理解し企画開発力を持った「中核技術者」の育成～

本校は、東洋一の技術集積のあった「呉」にある高等専門学校として、15歳からの5年間または7年間の一貫教育、実験・実習を重視した教育活動により、理論と技能を結びつける技術者を育成することを目指す。

「地域から世界へ、人類の幸福に貢献する人材であれ」

～豊かな人間性と確かな技術力を持ち、人類の福祉と平和、

国際社会の持続的発展に貢献するために学び続ける人材の育成～

本校は、かつての軍港「呉」にある高等専門学校として、人類の福祉と平和、国際社会の持続的発展へ貢献できる人材を育成することを重視し、変化を恐れない「柔軟性」と「創造性」、確かな「技術力」と「実行力」を持ち、自ら学び続ける人材を育成することを目指す。

**教育目的**

## 本科の教育目的

豊かな教養と国際性を持ち、それぞれの専門分野において実験・実習・演習を重視した教育により工学に関する知識や技術を身に付け、各分野の課題に対応できる人材を育成する。

## 各学科の教育目的

- 機械工学科  
ものづくりを通して社会の発展に貢献できる機械技術を有する人材の育成
- 電気情報工学科  
絶え間なく進化する科学技術に対応できる電気情報技術を有する人材の育成
- 環境都市工学科  
豊かで快適な自然環境や社会基盤を整備する技術を有する人材の育成
- 建築学科  
安全で快適な生活空間を創造する技術を有する人材の育成

## 専攻科の教育目的

### 教育目的

豊かな人間性と国際性を持ち、学修してきた専門分野を深めながら、複合的な素養を身に付け、多様性を涵養し、プロジェクトをデザインできる人材を育成する。

### 専攻の教育目的

- プロジェクトデザイン工学専攻  
学修してきた専門分野を深めながら、複合的な素養を身に付け、多様性を涵養し、プロジェクトをデザインできる人材の育成

## 学習・教育目標

### 本科

- (HA) 豊かな教養と国際性の修得
- (HB) 工学に関連する基礎知識の修得
- (HC) 専門分野の課題に対応できる能力の修得
- (HD) 社会のニーズを捉え、創造的に課題に対応できる能力の修得

### 専攻科

- (SA) 豊かな教養と倫理観により、国際的に行動できる能力の修得
- (SB) 工学に関連する応用能力の修得
- (SC) 専門分野の課題を解決できる能力の修得
- (SD) 社会のニーズを捉え、異分野と協働して課題を解決できる能力の修得

\*3つのポリシー(一部文章は呉高専 HP より引用)

## ディプロマ・ポリシー

### 本科

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー中の(HA)～(HD)は、学習・教育目標とそれぞれ対応している。

### 準学士課程卒業認定の基本方針

学習・教育目標に沿って設けた授業科目を履修し、以下の項目にあげる知識・能力を身に付け、167 単位以上（一般科目 75 単位以上、専門科目 82 単位以上）を修得した学生に準学士（工学）を授与する。

### 準学士課程で養成する人材像

- (HA) 技術者として必要な教養とコミュニケーション力を身に付けている
  - ・人文・社会科学系科目を修得する
- (HB) 専門分野に活用できる工学に関する基礎知識を身に付けている
  - ・自然科学系科目を修得する
- (HC) 実務や研究に活用できる専門知識や専門技術を身に付けている
  - ・専門科目及び卒業研究を修得する
- (HD) 主体的な活動を通し、創造的に課題に対応できる能力を身に付けている
  - ・インキュベーションワークを修得する

準学士課程では、「本科の学習・教育目標 (HA) 豊かな教養と国際性の修得、(HB) 工学に関連する基礎知識の修得、(HC) 専門分野の課題に対応できる能力の修得、(HD) 社会のニーズを捉え、創造的に課題に対応できる能力の修得」の各目標に対応した科目の履修により、167 単位以上（一般科目 75 単位以上、専門科目 82 単位以上）を修得した学生に卒業を認定し、準学士（工学）と称することを認める。ここで、一般科目は (HA)、(HB)、(HD) の科目、専門科目は(HC)の科目が対応している。

上記単位の修得により、学則に示す本科の教育目的「豊かな教養と国際性を持ち、それぞれの専門分野において実験・実習・演習を重視した教育により工学に関する知識や技術を身に付け、各分野の課題に対応できる人材を育成する。」を実現する。

具体的な人材像として「(HA) 技術者として必要な教養とコミュニケーション力を身に付けている、(HB) 専門分野に活用できる工学に関する基礎知識を身に付けている、(HC) 実務や研究に活用できる専門知識や専門技術を身に付けている、(HD) 主体的な活動を通し、創造的に課題に対応できる能力を身に付けている」を想定している。

### 専攻科

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー中の(SA)～(SD)は、学習・教育目標とそれぞれ対応している。

### 専攻科課程の修了認定方針

学習・教育目標に沿って設けた授業科目を履修し、以下の項目にあげる知識・能力を身に

付け、62 単位以上を修得するとともに、大学改革支援・学位授与機構の審査に合格し、学士（工学）を取得する。

### 専攻科課程で養成する人材像

- (SA) 技術者として豊かな教養と倫理観、自らの考えを的確に伝えられる  
コミュニケーション力を身に付けている
  - ・教養科目を修得する
- (SB) 専門分野に活用できる工学に関する応用能力を身に付けている
  - ・専門基礎科目を修得する
- (SC) 実務や研究に活用できる専門分野に関する応用能力を身に付けている
  - ・専門科目、応用研究及び特別研究を修得するとともに、  
研究成果を学協会で発表する
- (SD) 修得した知識や技術を活用し、異分野と協働して課題を解決できる能力を身に付けている
  - ・プロジェクトデザイン系科目及びインターンシップを修得する

専攻科課程では、「専攻科の学習・教育目標 (SA) 豊かな教養と倫理観により、国際的に行動できる能力の修得、(SB) 工学に関連する応用能力の修得、(SC) 専門分野の課題を解決できる能力の修得、(SD) 社会のニーズを捉え、異分野と協働して課題を解決できる能力の修得」の各目標に対応した科目の履修により、62 単位以上を修得するとともに、大学改革支援・学位授与機構の審査に合格した学生に専攻科修了を認める。

上記単位の修得により、学則に示す専攻科の教育目的「豊かな人間性と国際性を持ち、学修してきた専門分野を深めながら、複合的な素養を身に付け、多様性を涵養し、プロジェクトをデザインできる人材を育成する。」を実現する。

具体的な養成する人材像として「(SA) 技術者として豊かな教養と倫理観、自らの考えを的確に伝えられるコミュニケーション力を身に付けている、(SB) 専門分野に活用できる工学に関する応用能力を身に付けている、(SC) 実務や研究に活用できる専門分野に関する応用能力を身に付けている、(SD) 修得した知識や技術を活用し、異分野と協働して課題を解決できる能力を身に付けている」を想定している。

### カリキュラムポリシー

#### 本科

低学年は一般科目を中心とし、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加し、高学年は専門科目中心となる楔形のカリキュラムとする。また、初年次から、全学科に共通する専門的な科目を設ける。なお、評価はシラバスに示す評価割合に従って行い、60 点以上を合格とする。

- (HA) 豊かな教養と国際性を修得するために、人文・社会科学系科目を設ける
- (HB) 工学に関連する基礎知識を修得するために、自然科学系科目を設ける
- (HC) 専門分野の課題に対応できる能力を修得するために、専門科目を設ける
- (HD) 社会のニーズを捉え、創造的に課題に対応できる能力を修得するために、総合的な科目を設ける

本科の教育目的「豊かな教養と国際性を持ち、それぞれの専門分野において実験・実習・演習を重視した教育により工学に関する知識や技術を身に付け、各分野の課題に対応できる人材を育成する。」を実現するため、低学年は一般科目を中心とし、学年進行に伴い徐々に専門科目の比重を増加し、高学年は専門科目中心となる楔形のカリキュラムとする。また、初年次から、全学科に共通する専門的な科目を設ける。

各学科の教育目的を実現するため、専門科目ではそれぞれの専門分野において実験・実習・演習を重視する。国立高等専門学校機構モデルコアカリキュラムに準拠し、専攻科との接続を考慮した体系的なカリキュラムを構成する。

全ての授業は、カリキュラムポリシーに基づいて、講義、演習、実験・実習など多様な形態で実施し、その評価については、試験、発表、態度、ポートフォリオなどにより評価する。

各科目の到達目標・授業方法・授業計画・評価方法を **Web** シラバスにより公開し、学修の成果は学則に定める成績評価基準により評価する。

各学科と高専 **MCC** (モデルコアカリキュラム)、学位授与機構専攻の区分との関係

学科名	学科の教育目的	高専 MCC	学位授与機構専攻の区分
機械工学科	ものづくりを通して社会の発展に貢献できる機械技術を有する人材の育成	機械系分野	機械工学
電気情報工学科	絶え間なく進化する科学技術に対応できる電気情報技術を有する人材の育成	電気・電子系分野	電気電子工学
環境都市工学科	豊かで快適な自然環境や社会基盤を整備する技術を有する人材の育成	建設系分野	土木工学
建築学科	安全で快適な生活空間を創造する技術を有する人材の育成	建築系分野	建築学

## 専攻科

本科で修得した主専攻となる専門分野の知識や技術を深めるとともに、他の専門分野の

知識や技術を取り入れながら、異分野と協働してプロジェクトをデザインするための能力を身に付けることができるカリキュラムとする。なお、評価はシラバスに示す評価割合に従って行い、60点以上を合格とする。

- (SA) 豊かな教養と倫理観により、国際的に行動できる能力を修得するために、人文・社会科学系の教養科目を設ける
- (SB) 工学に関連する応用能力を修得するために、専門基礎科目を設ける
- (SC) 専門分野の課題を解決できる能力を修得するために、専門科目を設ける
- (SD) 社会のニーズを捉え、異分野と協働して課題を解決できる能力を修得するために、総合的なプロジェクトのデザインを実践する科目を設ける

専攻科の教育目的「本科の教育目的「豊かな教養と国際性を持ち、それぞれの専門分野において実験・実習・演習を重視した教育により工学に関する知識や技術を身に付け、各分野の課題に対応できる人材を育成する。」を実現するため、本科で修得した主専攻となる専門分野の知識や技術を深めるとともに、他の専門分野の知識や技術を取り入れながら、異分野と協働してプロジェクトをデザインするための能力を身に付けることができるカリキュラムとする。

全ての授業は、カリキュラムポリシーに基づいて、講義、演習、実験・実習など多様な形態で実施し、その評価については、試験、発表、態度、ポートフォリオなどにより評価する。

各科目の到達目標・授業方法・授業計画・評価方法を Web シラバスにより公開し、学修の成果は学則に定める成績評価基準により評価する。

各学科と高専 MCC (モデルコアカリキュラム)、学位授与機構専攻の区分との関係

専攻名	系	基礎となる学科	高専 MCC	学位授与機構 専攻の区分
プロジェクトデザイン工学 専攻	機械系	機械工学科	機械系分野	機械工学
	電気情報系	電気情報工学科	電気・電子系分野	電気電子工学
	環境都市系	環境都市工学科	建設系分野	土木工学
	建築系	建築学科	建築系分野	建築学

## アドミッション・ポリシー

### 本科（1年次入学、3年次編入学、4年次編入学で共通）

#### 求める学生像

呉高専は、次のような人を待っている。

- (H1) 確かな基礎学力を持ち、ものづくりに興味のある人
- (H2) 主体的かつ積極的に行動できる人
- (H3) コミュニケーション力のある人

求める学生像の3項目、(H1)、(H2)、(H3)は、それぞれ学力の3要素（1）知識・技能、（2）思考力・判断力・表現力等の能力、（3）主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度に対応している。

#### 入学者受け入れの基本方針

##### 第1学年入学

中学校を卒業した者を対象に、推薦選抜（一般推薦）、推薦選抜（特別推薦）、学力選抜、帰国子女特別選抜の4つの方法により、入学者を選抜する。

(1) 推薦選抜（一般推薦） 入学意欲と適性、積極性、コミュニケーション能力などについて、総合的に評価する。配点は、調査書 270 点、面接 135 点の合計 405 点満点とする。

(2) 推薦選抜（特別推薦） 選抜は、面接によって行う。学業、活動実績と活動内容を確認し、入学意欲、志望学科への適性などについて、総合的に評価する。

(3) 学力選抜 学力検査と調査書の総合判定によって行う。配点は、学力検査 500 点（100 点×5 教科）、調査書 405 点、合計 905 点満点とする。

(4) 帰国子女特別選抜 選抜は、学力検査と面接の総合判定によって行う。配点は、学力検査 400 点（100 点×4 教科）、面接 100 点の合計 500 点満点とする。

##### 第3学年編入学（外国人対象）

外国の高等学校を卒業した外国人を対象として、第3学年編入学者の選抜を行う。編入学者の選抜は、出願書類、日本留学試験の成績、TOEFL、TOEIC L&R または IELTS の成績および面接の評価を総合して行う。

##### 第4学年編入学

高等学校を卒業した者を対象として、第4学年編入学者の選抜を行う。選抜は、調査書（150 点）、試験（150 点）及び面接の総合判定によって行う。

#### 入学者選抜における評価項目

アドミッシ ョン・ ポリシ ー	(H1) 確かな基礎学力を持ち、ものづくりに興味のある人	(H2) 主体的かつ積極的に行動できる人	(H3) コミュニケーション力のある人
--------------------------	------------------------------	----------------------	---------------------

学力の 3 要素	(1)知識・技能	(2)思考力・判断力・表現力等の能力	(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
推薦選抜 (一般推薦)	調査書	面接	面接
推薦選抜 (特別推薦)	調査書(中学校 3 年間 9 教科の学業成績の総計が 5 段階評価で 114 以上)	面接、推薦書(課外活動等における優れた成績を収めた者)	面接
学力選抜	学力検査(5 科目) 調査書		
帰国子女特別選抜	学力検査(4 科目)		面接
第 3 学年編入学 (外国人対象)	日本留学試験、英語外部試験	面接	面接
第 4 学年編入学	試験(筆記又は口述試問)	面接	面接

## 専攻科

### 求める学生像

呉高専専攻科は、次のような人を待っている。

- (S1) 技術者として必要な教養とコミュニケーション力を身に付けている人
- (S2) 専門分野に関する知識と技術を持ち、ものづくりの技術を身に付けている人
- (S3) 課題を解決するために、主体的かつ積極的に行動できる人

求める人材像の 3 項目のうち、(S1)と (S2) は学力の 3 要素 (1) に、(S3)は学力の 3 要素 (2) と (3) に対応している。

### 入学者受け入れの基本方針

高等専門学校を卒業した者と対象に、推薦による選抜、学力による選抜及び社会人特別選抜の 3 つの方法により、入学者を選抜する。

(1) 推薦による選抜 入学者の選抜は、在学又は出身の高等専門学校長から提出された推薦書、調査書(200 点満点)及び面接(専門科目に関する口頭試問を含む。200 点

満点)の結果を総合して行う。

(2) 学力による選抜 入学者の選抜は、学力検査(400点満点)、調査書(200点満点)及び面接の結果を総合して行う。

(3) 社会人特別選抜 入学者の選抜は、企業等から提出された推薦書、調査書及び面接(専門科目に関する口頭 試問を含む。)の結果を総合して行う。

入学者選抜における評価項目

アドミッション・ポリシー	(S1) 技術者として必要な教養とコミュニケーション力を身に付けている人	(S2) 専門分野に関する知識と技術を持ち、ものづくりの技術を身に付けている人	(S3) 課題を解決するために、主体的かつ積極的に行動できる人
学力の3要素	(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)知識・技能	(2)思考力・判断力・表現力等の能力
推薦による選抜	面接	調査書、面接	面接
学力による選抜	面接	学力検査	面接
社会人特別選抜	面接	調査書	面接

\*入試形態(URLは呉高専HPより引用)

[令和3年度本科 入学者募集要項・入学案内](#)

[令和3年度 編入学者募集要項](#)

[令和3年度専攻科学生募集要項](#)

\*試験状況及び偏差値や倍率(図は呉高専HPより引用)

偏差値

年度	学 科 名	入学 定員	特別推薦		一般推薦			学力検査			入学者
			志願者	合格者	志願者	合格者	倍率	志願者	合格者	倍率	
平成 30 年度	機 械 工 学 科	40	5 (0)	5 (0)	32 (5)	17 (4)	1.9	35 (2)	21 (0)	1.7	40 (4)
	電 気 情 報 工 学 科	40	7 (1)	7 (1)	41 (4)	15 (0)	2.7	31 (4)	21 (2)	1.5	43 (3)
	環 境 都 市 工 学 科	40	7 (3)	7 (3)	38(15)	16(10)	2.4	32 (8)	20 (6)	1.6	42 (18)
	建 築 学 科	40	4 (1)	4 (1)	38(18)	18(13)	2.1	35(10)	18 (6)	1.9	40 (20)
	合 計	160	23 (5)	23 (5)	149(42)	66(27)	2.3	133(24)	80(14)	1.7	165 (45)
令 和 元 年 度	機 械 工 学 科	40	5 (1)	5 (1)	54 (4)	18 (2)	3.0	54 (7)	20 (2)	2.7	42 (5)
	電 気 情 報 工 学 科	40	3 (0)	3 (0)	41 (2)	18 (2)	2.3	40 (4)	22 (1)	1.8	43 (3)
	環 境 都 市 工 学 科	40	2 (1)	2 (1)	40(10)	20 (7)	2.0	32 (6)	21 (2)	1.5	43 (10)
	建 築 学 科	40	3 (2)	3 (2)	37(19)	19(12)	1.9	25 (9)	18 (4)	1.4	40 (18)
	合 計	160	13 (4)	13 (4)	172(35)	75(23)	2.3	151(26)	81 (9)	1.9	168 (36)
令 和 2 年 度	機 械 工 学 科	40	2 (0)	2 (0)	30 (2)	19 (1)	1.6	26 (2)	19 (1)	1.4	40 (2)
	電 気 情 報 工 学 科	40	5 (0)	5 (0)	60(10)	17 (5)	3.5	69 (9)	20 (3)	3.5	40 (7)
	環 境 都 市 工 学 科	40	4 (2)	4 (2)	24 (8)	17 (6)	1.4	22 (4)	23 (3)	1.0	42 (11)
	建 築 学 科	40	10 (4)	10 (4)	51(22)	13 (7)	3.9	47(17)	19 (6)	2.5	40 (17)
	合 計	160	21 (6)	21 (6)	165(42)	66(19)	2.5	164(32)	81(13)	2.0	162 (37)

( ) : 女子学生内数

(a) 本科入学者選抜状況

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
機械工学科	0	0	0	0	0
電気情報工学科	0	0	0	1	0
環境都市工学科	0	0	0	0	0
建築学科	1	2	1	0	0
計	1	2	1	1	0

(b)編入学者選抜状況

年度	専攻	入学定員	試験種類	志願者(計)	合格者(計)	倍率	入学者(計)
平成28年度	機械電気工学*	8	推薦	2(0)	2(0)	1.3	2(0)
			学力	13(1)	10(1)		8(1)
			社会人	0	0		0
	建設工学*	8	推薦	6(0)	6(0)	1.1	6(0)
			学力	12(1)	10(1)		7(1)
			社会人	0	0		0
平成29年度	プロジェクトデザイン工学	40	推薦	5(1)	5(1)	1.1	5(1)
			学力	28(6)	25(5)		13(2)
			学力(二次募集)	3(0)	2(0)		2(0)
			社会人	0	0		0
平成30年度	プロジェクトデザイン工学	40	推薦	30(4)	29(4)	1.1	29(4)
			学力	28(2)	25(2)		11(1)
			学力(二次募集)	3(0)	3(0)		3(0)
			社会人	0	0		0

\*平成28年度の入学先はプロジェクトデザイン工学専攻

( ): 女子学生内数

(c)専攻科入学者選抜状況

図3 入学者選抜状況

\*卒業後の進路状況(図は呉高専 HP より引用)

令和元年度卒業生・修了者の進路

令和元年度卒業生・修了者

区 分	卒業生・修了者数	進学者	就 職					その他	
			就職希望者数	求人数	就職者数	求人倍率	就職率		
学 科	機械工学科	36 (3)	21 (1)	15 (2)	709	15 (2)	47.3	100%	0
	電気情報工学科	45 (2)	15 (0)	29 (2)	743	29 (2)	25.6	100%	1
	環境都市工学科	41 (10)	13 (2)	27 (7)	457	27 (7)	16.9	100%	1
	建築学科	45 (16)	11 (1)	34 (15)	448	34 (15)	13.2	100%	0
	合計	167 (31)	60 (4)	105 (26)	2357	105 (26)	22.4	100%	2
専攻科	プロジェクトデザイン工学専攻	41 (4)	14 (2)	27 (2)	672	27 (2)	24.9	100%	0
	合計	41 (4)	14 (2)	27 (2)	672	27 (2)	24.9	100%	0

( ) : 女子学生内数

令和元年度大学編入学先及び専攻科入学状況

大学名	卒 業 年 度					
	～H26	H27	H28	H29	H30	R元
北海道大学	9			1	1	1
北海道教育大学	1					
室蘭工業大学	7					
北見工業大学	1					
岩手大学	4					
東北大学	12					1
秋田大学	1					
図書館情報大学	4					
茨城大学	0				1	
筑波大学	6	2	1		1	2
宇都宮大学	4					
群馬大学	3					
埼玉大学	4					
千葉大学	26			2		2
東京大学	10				1	1
東京農工大学	28	1	1			
東京工業大学	25				1	1
電気通信大学	13		2	1		
横浜国立大学	12	1	2	4	1	2
新潟大学	2					
長岡技術科学大学	60		1	2	1	1
山梨大学	32					
信州大学	5		2	1		1
富山大学	1	1				
金沢大学	3					
福井大学	10					
岐阜大学	7					
静岡大学	1					
名古屋大学	1					
名古屋工業大学	9					
豊橋技術科学大学	151	3		5	2	7

※東京大学、京都大学については2年次への編入

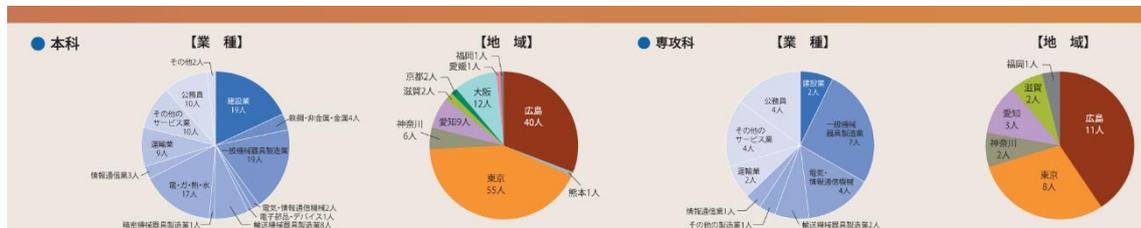
大学名	卒 業 年 度					
	～H26	H27	H28	H29	H30	R元
三重大学	28				1	
京都大学	1					
京都工芸繊維大学	6				2	
大阪大学	27	2	1			
神戸大学	8	1				
奈良女子大学	3					
鹿取大学	6					
島根大学	5					
岡山大学	59			2	1	
広島大学	145	1	4	1		2
山口大学	56					1
徳島大学	10				1	
香川大学	1					
愛媛大学	33					
高知大学	1	1				
九州大学	19		1	2	2	4
九州芸術工科大学	1					
九州工業大学	49		1			1
佐賀大学	18					
長崎大学	11					
熊本大学	33	2	1	1	1	3
大分大学	9					
宮崎大学	8					
鹿児島大学	2					
琉球大学	4					
小 計	995	15	17	22	17	30
公立大学計	46	1	1	2	0	1
私立大学計	27	1	0	2	0	0
呉高専専攻科	363	23	20	43	35	28
その他高専専攻科	9	0	0	0	0	0
海 外	9	0	0	0	0	1
合 計	1440	40	38	69	52	60

令和元年度大学院入学状況

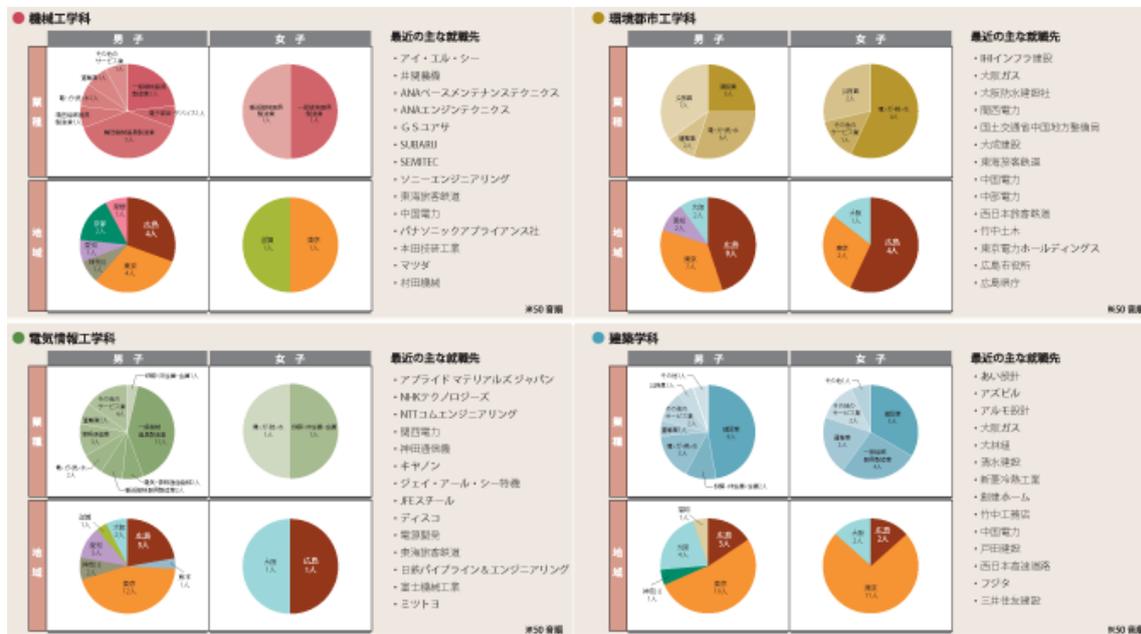
大学名	修了年度				
	～H27	H28	H29	H30	R1
北海道大学			1		
東北大学				2	2
筑波大学	1				
東京工業大学	1		1		
電気通信大学					1
長岡技術科学大学	1	1	1		1
豊橋技術科学大学	4	1		1	
名古屋大学			1		1
京都工芸繊維大学		1		1	
京都大学					1
大阪大学	1				
神戸大学	3				
奈良先端科学技術大学院大学	4		1		

大学名	修了年度				
	～H27	H28	H29	H30	R1
岡山大学	2				
広島大学	4	1			4
山口大学		1			
愛媛大学	1				
九州大学	1				
九州工業大学	1				
長崎大学		1			
東京都立大学					1
大阪市立大学					1
京都府立大学	1				
兵庫県立大学		2			2
早稲田大学	5				
青山学院大学	3				
合計	33	8	4	4	14

## 就職状況



## 主な就職先 (令和元年度実績)



平成 30 年度卒業生・修了者の進路

平成 30 年度卒業生・修了者

区 分	卒業生・ 修了者数	進学者	就 職				その他	
			就職希望者数	求人数	就職者数	求人倍率		
学 科	機械工学科	35 (2)	18 (0)	17 (2)	737	17 (2)	43.4	0
	電気情報工学科	37 (1)	7 (0)	30 (1)	864	30 (1)	28.8	0
	環境都市工学科	41 (10)	14 (2)	27 (8)	397	27 (8)	14.7	0
	建築学科	43 (13)	13 (4)	30 (9)	377	30 (9)	12.6	0
	合計	156 (26)	52 (6)	104 (20)	2375	104 (20)	22.8	0
専攻科	プロジェクトデザイン工学専攻	18 (2)	4 (0)	13 (1)	765	13 (1)	58.8	1
	合計	18 (2)	4 (0)	13 (1)	765	13 (1)	58.8	1

( ) : 女子学生内数

平成 30 年度大学編入学先及び専攻科入学状況

大学名	卒 業 年 度					
	～H25	H26	H27	H28	H29	H30
北海道大学	9				1	1
北海道教育大学	1					
室蘭工業大学	7					
北見工業大学	1					
岩手大学	4					
東北大学	12					
秋田大学	1					
図書館情報大学	4					
茨城大学						1
筑波大学	6		2	1		1
宇都宮大学	4					
群馬大学	3					
埼玉大学	4					
千葉大学	25	1			2	
東京大学	10					1
東京農工大学	28		1	1		
東京工業大学	25					1
電気通信大学	13			2	1	
横浜国立大学	11	1	1	2	4	1
新潟大学	2					
長岡技術科学大学	58	2		1	2	1
山梨大学	32					
信州大学	5			2	1	
富山大学	1		1			
金沢大学	3					
福井大学	10					
岐阜大学	7					
静岡大学	1					
名古屋大学	1					
名古屋工業大学	9					
豊橋技術科学大学	145	6	3		5	2

大学名	卒 業 年 度					
	～H25	H26	H27	H28	H29	H30
三重大学	26	2				1
京都大学	1					
京都工芸繊維大学	6					2
大阪大学	27		2	1		
神戸大学	8		1			
奈良女子大学	3					
鳥取大学	6					
島根大学	5					
岡山大学	57	2			2	1
広島大学	142	3	1	4	1	
山口大学	55	1				
徳島大学	10					1
香川大学	1					
愛媛大学	33					
高知大学	1		1			
九州大学	18	1		1	2	2
九州芸術工科大学	1					
九州工業大学	49			1		
佐賀大学	18					
長崎大学	11					
熊本大学	32	1	2	1	1	1
大分大学	9					
富崎大学	8					
鹿児島大学	2					
琉球大学	4					
小 計	975	20	15	17	22	17
公立大学計	43	3	1	1	2	0
私立大学計	26	1	1	0	2	0
兵高専専攻科	337	26	23	20	43	35
その他高専専攻科	8	1	0	0	0	0
合 計	1389	51	40	38	69	52

※東京大学、京都大学については2年次への編入

平成 30 年度大学院入学状況



区 分	卒業者・ 修了者数	進学者	就 職					その他	
			就職希望者数	求人数	就職者数	求人倍率	就職率		
学 科	機械工学科	45 (1)	20 (0)	24 (1)	589	24 (1)	24.5	100%	1
	電気情報工学科	44 (4)	19 (1)	24 (2)	700	24 (2)	29.2	100%	1
	環境都市工学科	48 (7)	15 (2)	33 (5)	389	33 (5)	11.8	100%	0
	建築学科	42 (12)	16 (3)	26 (9)	317	26 (9)	12.2	100%	0
	合計	179 (24)	70 (6)	107 (17)	1995	107 (17)	18.6	100%	2
専攻科	プロジェクトデザイン工学専攻	23 (2)	4 (0)	18 (2)	519	18 (2)	28.8	100%	1
	合計	23 (2)	4 (0)	18 (2)	519	18 (2)	28.8	100%	1

( ) : 女子学生内数

### 平成 29 年度大学編入学先及び専攻科入学状況

大学名	卒 業 年 度				
	～H25	H26	H27	H28	H29
北海道大学	9				1
北海道教育大学	1				
室蘭工業大学	7				
北見工業大学	1				
岩手大学	4				
東北大学	12				
秋田大学	1				
図書館情報大学	4				
筑波大学	6		2	1	
宇都宮大学	4				
群馬大学	3				
埼玉大学	4				
千葉大学	25	1			2
東京大学	10				
東京農工大学	28		1	1	
東京工業大学	25				
電気通信大学	13			2	1
横浜国立大学	11	1	1	2	4
新潟大学	2				
長岡技術科学大学	58	2		1	2
山梨大学	32				
信州大学	5			2	1
富山大学	1		1		
金沢大学	3				
福井大学	10				
岐阜大学	7				
静岡大学	1				
名古屋大学	1				
名古屋工業大学	9				
豊橋技術科学大学	145	6	3		5

※東京大学、京都大学については2年次への編入

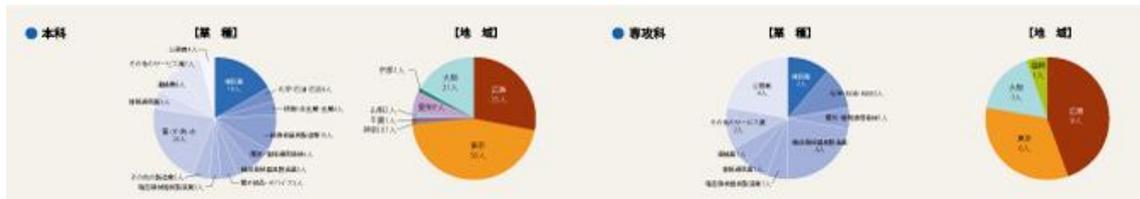
大学名	卒 業 年 度				
	～H25	H26	H27	H28	H29
三重大学	26	2			
京都大学	1				
京都工芸繊維大学	6				
大阪大学	27		2	1	
神戸大学	8		1		
奈良女子大学	3				
鳥取大学	6				
鳥根大学	5				
岡山大学	57	2			2
広島大学	142	3	1	4	1
山口大学	55	1			
徳島大学	10				
香川大学	1				
愛媛大学	33				
高知大学	1		1		
九州大学	18	1		1	2
九州芸術工科大学	1				
九州工業大学	49			1	
佐賀大学	18				
長崎大学	11				
熊本大学	32	1	2	1	1
大分大学	9				
宮崎大学	8				
鹿児島大学	2				
琉球大学	4				
小 計	975	20	15	17	22
公立大学計	43	3	1	1	2
私立大学計	26	1	1	0	2
旧高専専攻科	337	26	23	20	43
その他高専専攻科	8	1	0	0	0
合 計	1389	51	40	38	69

### 平成 29 年度大学院入学状況

大学名	修了年度				
	～H25	H26	H27	H28	H29
北海道大学					1
筑波大学		1			
東京工業大学		1			1
長岡技術科学大学	1			1	1
豊橋技術科学大学	2		2	1	
名古屋大学					1
京都工芸繊維大学				1	
大阪大学	1				
神戸大学	2	1			
奈良先端科学技術大学院大学	4				
岡山大学	1	1			

大学名	修了年度				
	～H25	H26	H27	H28	H29
広島大学	4			1	
山口大学				1	
愛媛大学	1				
九州大学	1				
九州工業大学	1				
長崎大学				1	
京都府立大学	1				
兵庫県立大学				2	
早稲田大学	5				
青山学院大学	3				
合計	27	4	2	8	4

## 就職状況



## 主な就職先 (平成 29 年度実績)

